

福岡県立山門高等学校

同窓会だより

《第5号》

発行：山門高校同窓会
平成14年3月1日
事務局：山門高校内
TEL 62-4105

山門高校同窓会会長

板橋元昭

「母校創立九十周年記念

同窓会事業に御協力を」

山門高校同窓生の皆様には国内はならず、世界各地でも今年も元気に活動することお慶び申し上げます。卒業生やそのご父母にも読んでいただくために第三号からは卒業式に合わせ三月一日に発行しております。一九二二(明治四五年)年学校創立以来の同窓生は今春で一九八二〇名に達しました。



13年度総会風景

昨年は四月十四日に福岡支部の「福岡山門会」総会が、四月二十二日には関東地区の「山門高校同窓生の集い」が相前後して開催されました。そこで学校を代表して古賀校長先生、同窓会からは会長の私が出席させていただきました。福岡も東京も世話人の方々の非常なお骨折りのお蔭でとても盛況裡に行われたことに大きな感動を覚えました。世話人

の皆様には今後毎年継続していただきたい旨をお願いをして帰って参りました。

さて今年山門高校は創立九十周年を迎えます。そこで創立九十周年記念行事を行うために、先般、学校・父母教師会・同窓会の三者で実行委員会が組織されました。十一月一日の創立記念日に式典を行う予定で準備が進められております。

又私達同窓会は創立九十周年関連の記念事業として同窓会名簿の発行、同窓会館の設置、記念庭園の整備等を進めることにしております。同窓会名簿については業者との契約も終了し、会員の住所確認をしているところであります。

同窓会館は県当局が施設整備の一環として行う図書館建設に際し、その一角に同窓会が利用出来るスペース



山門高等学校校長

御挨拶

同窓会会員の皆さまには、平素から母校の教育活動に対して、御理解と御支援を頂いておりますこと、衷心より感謝申し上げます。

さて、旧制山門高女を前身とする本校は、明治、大正、昭和、平成と時代の変遷とともに歴史を刻んで参りましたが、いよいよ今年に創立九十周年の節目を迎えます。これまでに輩出した卒業生は約二万名を数え、全国各方面で御活躍の様子を後輩生徒の大きな励みとなっているところであります。

スを設置する予定です。記念庭園は老朽施設の撤去に伴う空地に造る予定です。しかしその為には現在迄の積立金では不足しますとの同窓会員の皆様にお断りのお願いをさせて頂いたことと存じます。五月三日の総会でこの相談をしご理解をいただきたくお願いいたします。

幸いに募金活動を行うことになれば昭和四十七年の創立六十周年の際に現体育館のビロイ部分建設の為の寄付をお願いして以来三十年振りのこととなります。

現在の山門高校は同窓生が誇りに思える学校、地域の子供達が、進んで入学して来る学校を目指して校長先生を中心に大変息の合った学校運営がなされております。私達同窓生も出来る限りの応援をして参りたいと念じているところであります。

古賀正美

近年は、国際化、情報化、高齢化など社会が急激に変化する中、教育界におきましても正に改革の時代で「生きる力」や「心の教育」の重要性が提唱され、今年四月からは学校完全週五日制が施行され、平成十五年度には新学習指導要領が改訂実施されます。更には、少子化や科学技術の進展に伴い第十一学区の大川高校と大川工業高校の統合をはじめ、三天柳山地区と大牟田地区の学区統合など、県の高校再編整備計画が平成十五年度から実施の予定で、逐次

進行しているところであります。本校の平成十三年度教育指導基本方針は、重点目標として「進路の完全達成」、教育方針は「文武両道」としてあります。目標達成のための重点課題を①自己指導力の育成、②教育活動における「育」の重視、③進路率の向上(進路指導の強化)、④部活動の振興(心身の鍛錬と個性の伸長)、⑤学校行事の感動の実施(豊かな人間性の育成)、⑥地域社会に信頼される学校づくり(三位一体の学校経営)として、更なる本校の発展に向けて、学校あげて努力中でありまして、十二月現在での学校の状況を概観して見ますと、行事面では公開体育大会の成功、オーストラリアへのホームステイなど、部活動では陸上部の大量延べ三十一名の県大会以上出場をはじめ、水泳部、ソフトテニス部、テニス部、弓道部、バドミントン部、合唱部、美術部、書道部、弁論部等が県大会以上の活躍をしております。進学面は一部の推薦入試は終了しましたが、主力は一月十九・二十日のセンター試験、および私立一般入試に向けて最後の調整中で、その結果が期待されるところであります。

最後に、今年の本校最大の課題は来る十一月一日予定の創立九十周年記念事業の成功であります。板橋同窓会長様を委員長とする実行体制も整いまして順調に準備進行中であり、会員の皆さまには、益々の御健勝と御活躍を祈念いたしますとともに、今後とも御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。



再開した山門高等学校 関東地区同窓会

昭和三十三年卒
松尾 武 昌

昭和三十年代後半に、遠く郷里を離れ東京を中心に仕事や学業に励んでいた、山門高校同窓生の心の支えとして、我が母校の関東支部同窓会が活動していました。戦後の復興期で同窓生の励ましあいが力強かった時代です。残念ですがその後休止状態になりました。

さて、二十一世紀初頭の平成十三年四月二十二日の日曜日に、福岡県立山門高等学校関東支部同窓会が数十年振りに再開されました。そのきっかけは、母校が本年創立九十一年の記念の年で、この機会に関東地区同窓会の再開について、板橋同窓会会長の強いご支援を得たことでありました。

これを受けて、東京で活躍中の同窓生の藤光ミエ子さんと宮前綾子さんが中心になり、有志の方々の協力を得て、再開することが出来ました。まず、四十歳になる昭和五十三年卒業生までの約八百三十人の名簿を作成し、全員に同窓会開催の案内状を送付しました。その結果、約七百名の方々に案内状が届き所在が確認され、同窓会名簿が出来ました。

同窓会当日の出席者は、約百八十名を越え私学大の会場は立錫の余地もない程大盛況でした。板橋元昭同窓会会長と古賀正美校長先生も九州から参加してくださいました。また当時、本校卒業の衆議院議員の古

賀誠さんが自民党幹事長の要職にあり、参加者全員でお祝いを申し上げました。

乾杯の音頭を、高等学校卒業第一回生の石田三和子さんにお願ひしました。懇親会は、久々の再会で懐かしく、学年を越え楽しい談笑で盛り

上がりました。時間が経つほどに筑後弁が飛び交い、最後は、校歌の大合唱で締めくくり、再会を約して閉会いたしました。

世話人では、今後しっかりとした組織を作り、本部の同窓会名簿を基に関東地区名簿を作成し、全学年参加の同窓会を開催することに確認しました。

今回の同窓会の開催に当たり、ご協力頂いた我が母校、母校同窓会、世話人の方々に心から感謝を申し上げます。報告といたします。



「福岡山門会」が発足

昭和三十八年卒
藤 丸 修

山門高校同窓会福岡支部は、富安、七条先輩(昭和27年卒・いずれも故人)の肝煎りで昭和50年頃発足し、年1回旧交を温める会が開催されてきましたが、10年程前自然消滅的になくなってしまいました。

福岡には多くの高校同窓会福岡支部があり、いずれの支部も母校への愛校心と郷土意識に溢れた活発な会です。

これまで他校の支部同窓会を横目で見ながら、山門は淋しい限りと思っていました。この度同窓生有志の協力を得て、昨年4月14日に会の名称も「福岡山門会」と改めて気分一新再開しました。

ここ福岡に住んでいるか、誰が何処に住んでいるか、どの会社か誰が勤めているかわからない。同じ企業に勤めていてもわからない。これが山門高校同窓生の現在の状況ではないかと思えます。山門は知

名度も高くない片田舎の高校です。だからこそ清流矢部川・緑豊かな清水山を抱える我が郷土に誇りを持ち、愛校心や同窓生意識を高めたいものです。

「福岡山門会」を発展的な同窓会にしていくために、皆様にお願ひがあります。

10年間の中断のため昭和42年卒以降の名簿が手元にありません。該当する同期名簿をお持ちの方がいましたら是非ご送付ください。本年の「福岡山門会」総会を左記により予定しています。お誘い合わせのうえ出席して頂ければと存じます。

今年山門高校創立90周年です。「福岡山門会」も福岡地区同窓生の和を助け、人生・仕事をより楽しく、有意義に過ごすためにも、長続きさせたいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。

「福岡山門会」 総会のお知らせ

日 時 4月13日(出)
14時30分より
場 所 福岡国際ホール
(西日本新聞会館13階)
会 費 男性 8千円 女性 7千円

総会の問い合わせ先
092-476-2600
藤丸 (西日本銀行本店)
092-524-9950
森 (マトリックス)
同期会名簿送付先
810-0022
福岡市中央区薬院4丁目3-5
株式会社マトリックス内 森 賢一

平成13年度同窓会総会を終えて

前年度実行委員長 金田 英稔

2001年5月3日、山門高校同窓会総会に、多数ご出席いただきましてありがとうございます。

これもひとえに、参加していただきました同窓会会員の皆様、同窓会の理事の方々、山門高校の諸先生方及び関係者の皆様のご協力により開催できたものと存じます。実行委員会を代表して、心より御礼申し上げます。

母校を卒業して22年が過ぎ、連絡先のわからない同期生も多く、実行委員会をどう組織し、運営していくか悩みましたが、近隣に住む同期生にクラス代表幹事になってもらい、実行委員会を組織しました。そして、クラス幹事の努力により同窓会名簿がほぼ完璧に出来上がりました。こうした中で、だんだん人も集まるようになり、総会の準備を順調に進めることができました。

また、チケット販売においては、同窓会理事の皆様や諸先輩方に快くご協力をいただき、心強く感じました。

5月3日総会当日。厳粛な雰囲気の中で総会が無事終了。22年ぶりに歌う山門高校校歌がとても懐かしく、高校生時代の思い出がよみがえりました。

記念講演の講師に楠田枝里子氏を迎え、「未来へのたび」のテーマで講演をしていただきました。

懇親会では、山門高校出身のプロサックス奏者、深町宏氏の演奏や福引抽選会で大いに盛り上がりました。料理は担当の委員会、例年と違っ

たものどと鯉料理をメインに作ったのも、参加してくださった皆さんに好評でした。

「教育は建国の基礎」といわれるように、私達のすむ地域が発展するために、地域で生まれた優秀な頭脳を、地域で育てる必要があると考えます。そういう意味で同窓会総会を担当する我々の役目は、年に一度盛大に同窓会総会を開催することで、あらためて山門高校の活力と存在意義を地域に広め、地域の活力を高め、山門高校の発展と更なる飛躍に貢献することと考えて企画運営させていただきました。十分にその役目を果たすことができたか疑問ですが、その役目を終えることができました。

40歳になって同期生が集い、事業を成し遂げることで、同期生同士の絆を深め、また新たな人との出会いを持つ機会を与えていただいたことを本当に感謝いたします。

活躍する同窓生



第33回日展(2001) 水辺

吉田 京香 (昭39年卒)

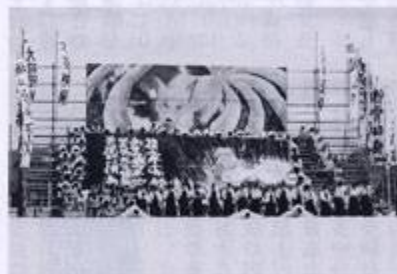
【画歴】

★日展入選4回

★日春展入選10回

★外務省買い上げ1回

【アトリエ】 熊本県荒尾市菰屋1756-22
TEL0968-68-0651



盛りあがった体育大会



活動する生徒たち

よみがえる 応援歌

- 1、歴史はここに 始まれる
邪馬台の国の ただやかに
寂知の光り かがげつつ
未来のとばり 開きゆく
われらは勇者
いざ来たれ
われらが誇り 今見せん
山門 山門 おお 山門
- 2、日向神域に 湧きいづる
矢部の流れに 育くまれ
はがねの腕 磨きつつ
内なる闘志 炎と燃やす
われらは勇者
いざ来たれ
われらが力 今見せん
山門 山門 おお 山門
- 3、春清水の 峰霞み
秋三重の 塔映ゆる
深きところを 睦びつつ
世界の空へ 天がける
われらは勇者
いざ来たれ
われらが拳 今見せん
山門 山門 おお 山門



第40回 福沢諭吉記念祭 全国高等学校弁論大会 優秀賞 (NHK大分放送局長賞) 西田 由佳さん



山門高校同窓会総会

平成14年5月3日(祝) 山門高校体育館
参加費：2,000円



- 第1部：同窓会総会/10:00～
第2部：記念講演/11:00～
田村亮子氏
「夢・感動・情熱」
第3部：懇親会/13:00～

既に看護医療系専門学校の入試は二二月から始まっており、私立大学の入試も二二月から本格的に始まった。社会状況の変化に伴い看護医療系学校の競争率が年々上昇し難化している中、本校生徒はよく健闘している。また、私立大学では西南学院大学に三七

編集室より
紙面の都合上、原稿の一部を割愛させていただきました。お詫び申し上げます。

第54回卒業生 同窓会クラス代表者

	男 子	女 子
1 組	石 橋 将 欣	樺 島 優 子
2 組	堤 栄 太	高 田 真 紀
3 組	檀 正 昭	高 添 島 愛 子
4 組	荒 木 和 秀	松 田 宏 美
5 組	大 木 誠 竜	石 川 裕 子
6 組	樺 嶋 慶 明	野 田 沙 矢

今、私たちは伝えたい「夢・感動・情熱」

— 人生を輝かせるために —

二〇〇二年同窓会総会 実行委員長 徳永 勉

同窓会会員の皆様、本年度の担当は昭和55年の卒業生です。どうぞよろしくお願ひします。

21世紀のスタートだった昨年、私たちは皆、この歴史的節目に大なる期待を抱いていました。がしかし、現実是不況のさらなる深刻化による企業倒産や失業者の増加、各地で起こる環境破壊、社会面では、親による子供への虐待や殺害、あるいは子供による大人たちへの暴力、また国際的には、アメリカで発生した同時多発テロ、と本当に予想すら出来ない、そして痛ましい事件が数多く発生し、人々の心を暗く落ち込ませました。

本当に21世紀はそんなに暗い時代になるのでしょうか？ いや違うはず

です。私たちが子供の頃思いえがいた21世紀は、まちがいなく「夢と感動と情熱にあふれる輝かしい未来」でした。その思いを忘れることなく、今こそ伝えていかなければならないと今回のテーマに決めました。そして記念講演会の講師には、このテーマを伝えるのに最もふさわしく、素晴らしい人物をお招きする予定です。シドニーオリンピック金メダリスト、そして前人未到の世界選手権5連覇を成し遂げられた「柔ちゃん」こと田村亮子さんです。今年も田村さんとともに、このテーマについて一緒に考えていただきたいと思っております。

5月3日まであと2ヶ月となりまして。昨年の同窓会総会でタスキを受けて以来、実行委員会で力を合わせ、着実に準備を進めています。同期生の名簿を作成し、実行委員会の組織をつくり、記念講演会の講師を決め、そして去る1月2日には100名ほどが集まって、同期会を開催することが出来ました。久しぶりに旧友と再会し、昔話に花を咲かせるとともに、なによりも「総会を成功させるんだ」という決意を確認する場になりました。

卒業して22年、同期生の顔が恋しくなってくる頃、この同窓会総会担当という絶好の機会を与えていただいた諸先輩方に感謝します。担当学年として、たくさんの方に来て頂けるすばらしい同窓会総会にすることが、同窓生の熱意を地域に広げ、山門高校のさらなる発展に貢献することと認識し、一致団結してがんばっています。ぜひ多数の皆様のご出席を心よりお待ちしております。

進路状況

進路指導主事 倉吉 康英

一般入試の代表である大学入試センター試験が一月十九・二十日に実施された。今年度の志願者数は、初めて六〇万人を超え、受験者数も約五十五万人と過去最高となった。本校でも昨年度より多い一五二名の生徒が久留米大学で受験した。自己採点の結果、全国平均点が下がったにも関わらず、本校生徒の平均点は昨年度よりもアップしており、かなりの健闘をみせた。その後、各業者のデータを基に三者面談を実施し、今年度は、前期・後期合せて延べ二一九名が国立大学へ出願している。

名 福岡大学に二三〇名、九州産業大学に五七名など多くの生徒が受験している。現段階では合否結果は殆ど出ていないが、これまでの三年生の状況からみて好結果を期待している。推薦入試については、ここ数年希望者が減少しており、今年も四二名が受験し、二六名が合格した。全国的に競争率の高い公務員試験では、自衛隊も含めて延べ一八名が合格するなどよく健闘した。しかし、公務員希望から一般就職希望に転向した数名については、過去最悪の就職難の影響を受け、求人も少なく現在のところ非常に厳しい状況である。

(二月二十五日記)